

《大森赤十字病院 外来診療担当医一覧》

※午前受付時間 8:30~11:00 (整形外科 8:30~10:00・乳腺外科 月・金 8:30~10:00)

- ・予約のない方で当日診療をご希望の方は、上記時間帯にお越しください。但しお待ちいただくことがあります。
- ・午後の診療は循環器内科(初診)・眼科を除き予約制です。
- ・医師の都合により担当医師が変更になることがあります。
- ・休診日 土・日・祝・年末年始(12/29~1/3)

2019/7/1

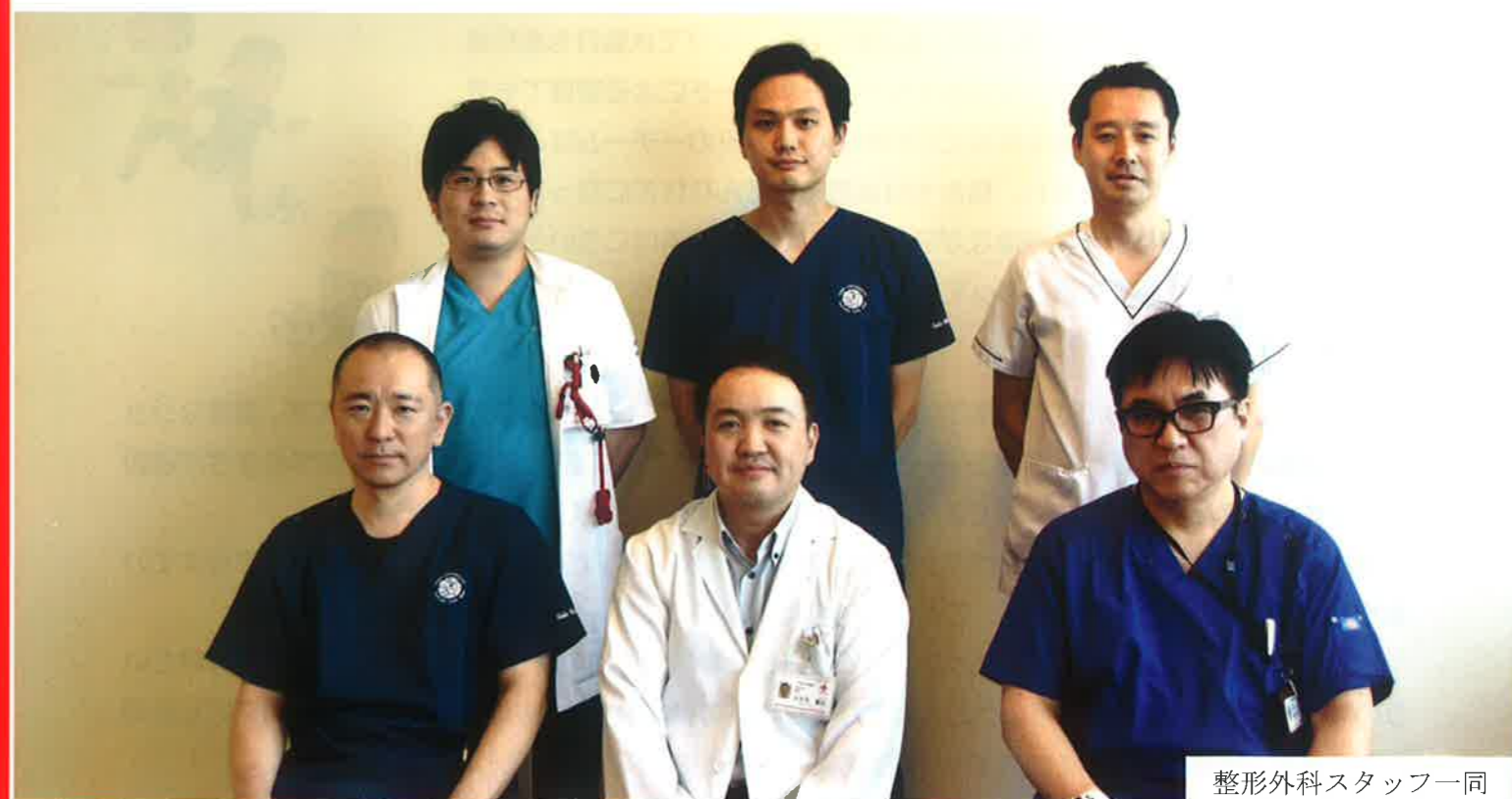
診療科	曜日	月		火		水		木		金		備考
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
神経内科		堀	鈴木 担当医	山田	中瀬 前田 担当医	柴田	荒川	川上 藤田	山之内 伊藤	郭	担当医	金 午後 第1・3・5週 堀 第2・4週 藤田
腎高血圧内科		薬師川	渋谷	町村		渋谷 夏井		薬師川		町村		
血液内科		新患受入一時休止中										
糖尿病内分泌内科		北里		岩田		北里	岩田	北里		竹下		完全予約制
膠原病リウマチ内科									板宮		山田	完全予約制
循環器内科	初診	持田	宮崎	持田	中島	安部	遠藤	神原	遠藤	土肥	長谷川	初診受付 8:30~16:00
	再診	古賀		遠藤 福井	神原	持田 安部	土肥	宮崎 長谷川	古賀	持田	神原 中島	
心臓血管外科				田鎖 渡邊								
呼吸器内科		太田(替)		太田(替)		太田(宏)	本間	長澤		成澤		完全予約制 水 午後 第3週のみ
呼吸器外科		池田 飯田			池田				池田	飯田		
消化器内科		井田 千葉 中岡 立川		後藤 有本 須藤 折原	福井 岡田	諸橋 千葉 河野 比嘉	新倉 折原	後藤 桑原 新倉 福井/ 担当医	中岡 須藤 立川	諸橋 井田 河野 岡田	桑原 有本 比嘉	
泌尿器科		大塚		浅野	浅野	浅野		大塚	大塚	丸山		
外科		渡辺 森園		中山 担当医		森園 西田 岡本	友成	渡辺 担当医		渡辺 西田 友成		
	乳腺外来	鈴木	鈴木				中山			鈴木	鈴木	月金 午前受付 8:30~10:00
	ストーマ外来							担当医	担当医			
整形外科		井形 齋藤		大日方 飯田 深野		大日方 小島原		井形 深野		飯田 齋藤		
脳神経外科		荒川		磯島	佐野	担当医		磯島	荒川	松本	橋本	
	脊髄空洞症外来		磯島									
ペインクリニック								市川				
皮膚科		日比野 佐藤	日比野 佐藤	日比野 佐藤	日比野 佐藤	日比野 佐藤	日比野 佐藤	佐藤	佐藤	日比野 佐藤	日比野 佐藤	
眼科		秋山 後藤田		秋山 後藤田	北原	秋山 後藤田		秋山 後藤田	担当医	秋山 後藤田		火木 午後受付 13:30~16:00
耳鼻咽喉科		櫻井		武田		福田		永井		柳原		
	補聴器外来				担当医				担当医			木 第2・4週
産婦人科	初診	田岡		清木		斎藤		間崎		渡辺		
	婦人科再診	水谷		田岡	渡辺	北村	清木	斎藤	間崎	新津	佐久間	
	妊婦健診	長崎		渡辺 武井	田岡	水谷	佐久間	佐久間	斎藤	間崎	清木	
	特殊健診			平野	武井							月 第1週除く
小児科		大沼 加藤		権 担当医		大沼 古川 担当医		鈴木 加藤	鈴木	古川 権		水 午前 第1・3・5週 大沼 第2・4週 古川
	予防接種											予約制
	乳児健診								担当医			予約制
	1ヶ月健診									担当医		予約制
緩和ケア外来												担当医

大森日赤 だより

2019 7月号

Contents

- 特集① 『スポーツは体の毒?』
整形外科部長 大日方 嘉行
- 特集② 『健康づくり始めませんか』
健診センター係長 松村 康弘
- 特集③ 『外来通院での抗がん剤治療って?』
~当院での抗がん剤治療~
がん化学療法看護認定看護師 高山 祐子・箱崎 緑



整形外科スタッフ一同



大森赤十字病院 〒143-8527 東京都大田区中央 4-30-1 TEL 03-3775-3111 fax 03-3776-0004

No.67 2019年7月10日発行

スポーツは体の毒？

整形外科部長 大日方 嘉行

病院には様々な診療科があり、その診療科の中にも細分化された専門領域が存在しています。その専門領域があるということは、それだけ沢山の患者さん達が存在しているという裏返しでもあります。整形外科にはスポーツ整形外科という分野があり東京にはあちこちにスポーツ整形外科を標榜した病院やクリニックがあります。ということは、スポーツにより病院を受診する人が多いということなのではないでしょうか。スポーツは健康のために行なうものではなかったの？不健康なの？という疑問をお持ちになる方もいるでしょう。事実としてスポーツを全くしてこなかった15歳の男の子が、肘や足の手術を受けることはありません。一生痛みを引きずるような変形をおこすこともありません。

私はあるJリーグのチームドクターもやっていますが、基本的にプロでも練習は1日1回2時間以内。試合翌日は回復トレーニングで休養日もあります。身体が出来上がっていて、プロのトレーナーやコーチによる管理でもその程度の練習量なのです。小中学校で行われているサッカーチームはどうでしょうか。毎日何時間も行われ、試合も毎週ある。そんな状況になっているチームもあることでしょう。残念ながらスポーツによる障害はこういった状況のチームから多く発生するといっても過言ではありません。

間違えないでほしいのですが、適度な運動は体の健康にとっても良いことは周知の事実です。適度なジョギングは良いでしょうが、毎日40Kmも走ったら身体のどこかに支障がでます。全てはやりすぎが原因なのです。適度な食事は体に必要ですが、食べ過ぎは病気を引き起こすことと同じです。

スポーツによる痛みは大きく分けると外傷と障害に分かれます。どちらも同じ様な意味合いで捉えている方もいらっしゃると思いますが、この二つは全く別のものであります。

外傷というのは、転んだりぶつかったりして受傷した骨折や捻挫のことでいわゆる怪我です。障害というのは、同じ動作を繰り返し行なうことにより生じた腱の炎症や疲労骨折などのことで、罹病期間も長期となります。障害の方が多くのスポーツ愛好家に問題を引き起こしていると言えるでしょう。

スポーツ整形外科は外傷、障害どちらも扱います。外傷は多くの施設で対応することが可能と思いますが、障害は比較的専門性の高い分野となります。



整形外科部長

大日方 嘉行

日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会認定スポーツ医
日本整形外科学会認定脊椎髄病医
日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医
日本整形外科学会認定リウマチ医
日本骨粗鬆症学会専門医
日本体育協会公認スポーツドクター



治療法は！？

治療法には2通りあり、手術を行う外科的治療法と手術をしない治療法の保存的治療があります。スポーツによる外傷・障害は小さなお子さんから中高年者まで幅広い年齢層があります。年齢や競技レベルにより治療法は変わります。

外傷や障害で治療をする上で最も難しいのは手術をするかどうかの判断だと私は考えています。誰しも手術を喜んで受けたいという人はいませんし、患者さんが小・中学生ともなればなおさらです。保存的加療で治ることがベストですが、手術加療がベストなこともあります。その判断には教科書には載っていない様な知識と経験が必要となることがあります。

また手術加療となる場合そのタイミングも難しいものとなります。患者さんの年齢、チームで今おかれている立ち位置、大会の日程等複雑に絡まってきます。治療法の選択判断が最も難しいということなのです。



手術中の大日方部長（中央）

予防は？？

我々スポーツ整形外科医もただ漫然と患者さんを待っている訳ではありません。どんなスポーツにどのような障害が多いのか、それはどの様に引き起こされるのか、機序が分かればそれに対する対策も考えることができます。そういった研究を元に障害を減らす様な啓蒙活動や指導、あるいは野球肘に代表される検診活動も行っています。医師というはお客さんを減らす努力をする商売人という変わった職業でもあります。私は以前国際フットボール医学会という学会に参加し発表もしてきました。会場はあの有名なバルセロナスタジアムの観客席というとても面白い体験でした。そこではヨーロッパをはじめとした世界中の有名なチームのドクター達が選手医療情報をオープンにして討論していました。一人で医療をやっていては経験することができない様なことを聞き、討論を重ねてより良い医療をプロからアマチュアまで広く提供していきたいと思えます。



FCバルセロナのホームスタジアム「カンブ・ノウ」

最後に～

大森赤十字病院整形外科ではスポーツによる外傷・障害の手術加療、特に手や足の治療を多く行なっています。残念ながら保存療法は当院では対応できませんが何か困ったことがあればどうぞご相談ください。

健康づくり始めませんか

健診センター係長 松村 康弘

皆さん、毎年「人間ドック」または「健康診断」を受けていますか？

会社勤めの方は、会社として社員の健康管理が義務付けられていますが、自営業の方や会社を退職された方々は自己管理となるので、健康診断等を受けていないのが現状の様です。

病気になった時、健康が一番であると感じた人は多いのではないのでしょうか。

長い人生を健康に、そして心豊かに過ごすためには、日ごろの健康への心がけや健康管理や気配りがかかせません。

また、毎年健康診断等を行うことで、早期発見・早期治療ができることとなります。

もし、結果で再検査が必要となった場合には、総合病院として各診療科と連携を図り再検査のご案内ができることとなります。

当院、健診センターは消化器内科、脳神経外科、神経内科、腎高血圧内科の医師が担当をして糖尿病、脂質異常症、腎臓病、高血圧等の成人病を専門とする内科医師により幅広い検診体制を整えています。

最近、脳梗塞・脳出血等が多くなっており、人間ドックにオプションで脳ドックを希望する方や、脳ドックのみを希望する方が多くなっております。

脳ドックの結果を脳神経外科、神経内科の専門医師だけでなく、放射線科医師とともに総合的な判断による結果説明を実施しています。

人間ドックを受診される方に「基本コースのほかに何かの検査をしたほうがいいですか？」と聞かれたら、オプションで脳ドック、採血で分かる腫瘍マーカー、ピロリ菌、男性では前立腺がん、女性では子宮がん検査、乳がん検査、卵巣がん検査等をおすすめしています。

その他に人間ドックだけでなく、採用時健診、一般健診、各種がん検診、大田区住民検診、大田区がん検診等も取り扱っておりますので、詳しくは健診センターもしくは当院ホームページをご覧ください。

病気になる前、元気な時こそ人間ドック、健康診断等を受けておきましょう。病気になった時の比較にもなり治療の際にも役立ちます。特に脳ドックは正常なときと病気の時との比較で場所の特定ができ、早期に治療に取りかかれる。

皆さんの健康づくりのために、定期的な人間ドック、健康診断等の受診をおすすめします。



MRI

各種料金のご案内 (税抜)

～日帰り人間ドック～ 38,000円

受付(健診センター)

身体測定(身長・体重・体脂肪・肥満度(BMI)・腹囲)・血液・尿検査

眼科検査 → 腹部超音波検査 → 心電図 → 肺活量測定 → 聴力検査

→ 胸部レントゲン → 胃内視鏡検査

～脳ドック～ 40,000円

受付(健診センター)

身体測定(身長・体重・体脂肪・肥満度(BMI)・腹囲)

血圧測定・血液・尿検査

胸部レントゲン → MRI・MRA 検査 → 頸部超音波検査 → 心電図 → 血圧脈波検査

追加料金のご案内 (税抜)

子宮検査	3,000円	内診・細胞診により子宮頸がんの早期発見に有用です。
乳房検査	5,000円	触診・マンモグラフィーにより乳がんの早期発見に有用です。
腫瘍マーカー	8,000円	AFP、CEA、CA-19-9、ペプシノゲン、肝臓・胆道・胆のう・胆管・肺・膵臓・大腸・胃等の各種がんの発見に有用です。
喀痰細胞診	2,500円	肺がんの早期発見に有用です。その他呼吸器系の情報源として有用です。
エイズ検査	2,200円	HIVに感染しているか調べます。
骨粗鬆症検査	1,900円	レントゲンで骨の密度を測定します。
前立腺がん検査	2,800円	採血により前立腺がんの発見に有用です。
卵巣がん検査	3,200円	採血により卵巣がんの発見に有用です。
血圧脈波検査	2,000円	動脈硬化の程度や血管狭窄(下肢)の有無を判定します。
ヘリカルCT(胸部)	13,000円	たばこを吸う方におすすめします。肺・縦隔を調べます。肺がんのスクリーニングに有用です。
栄養指導(20分)	2,000円	管理栄養士による栄養相談を行います。
ピロリ菌	2,800円	採血により胃潰瘍・胃がんの原因になるヘリコバクターピロリ菌感染の有無を調べます。
オプション脳ドック	37,700円	通常の脳ドックと同様の検査をします。 ※インプラント使用時は歯科医にご確認ください。
ABC健診	6,800円	採血によりペプシノゲン、ヘリコバクターピロリ IgG 抗体検査の結果を組み合わせ胃がんのリスクをA、B、C、D、の4群に分類して評価します。
甲状腺検査	5,700円	採血によりTSH、FT3、FT4の検査から甲状腺の機能低下及び亢進症の有無を調べます。

外来通院での抗がん剤治療って？

～当院での抗がん剤治療～

がん化学療法看護認定看護師
高山 祐子・箱崎 緑

□抗がん剤治療はつらいもの？

「抗がん剤治療をする」と聞くと、髪の毛は抜け、吐いてばかりで食事は食べられず、入院してつらい治療に長期間たえなくてはいけないものと思われる方もいらっしゃるかもしれません。抗がん剤治療は、ここ10年ほどで、目覚ましい進歩をとげ、お薬によっては外来通院が可能になるほど変わってきています。



□抗がん剤治療の場は、入院から外来へ

抗がん剤治療は、新しい薬の登場にともない治療成績が向上している分野です。最近では、ノーベル賞を受賞されたオプジーボ®を始め、免疫チェックポイント阻害剤といわれる新しいお薬も登場しています。また、つらい合併症や副作用を抑えるお薬の発展により、何度も入院をしなくても、日常生活や社会生活を続けながら、安全に外来で治療を続けることができるようになりました。

□当院における抗がん剤治療

当院での外来通院治療の場は、1階にある通院治療室で行っています。2011年10月のグランドオープンとともに新設されました。がん治療における抗がん剤の点滴や、関節リウマチ・炎症性腸疾患などの抗体拮抗薬を対象に点滴治療を実施しています。通院治療室は、安心して治療を受けられる専用のお部屋です。点滴中はリクライニングチェアでリラックスして点滴を受けることができます。お1人のスペースは広くはないですが、カーテンで仕切ることが可能で、プライバシーも守られます。点滴治療中、読書や音楽鑑賞など、お好きな時間を過ごしていただけます。治療に関しては、主治医、専任看護師、専任薬剤師がチームとなり安全で質の高い医療の提供に努めております。

【 当 院 の 外 来 通 院 治 療 室 】



リクライニングチェア6台・ベット1台完備



点滴中の様子

□抗がん剤治療のサポート体制

抗がん剤の治療開始時に、医師・薬剤師より治療計画や副作用についての詳しい説明があります。また、入院から外来治療へ移行する場合、通院日の流れや治療中の過ごし方、副作用の対応の仕方、自宅での過ごし方など、専任の看護師からオリエンテーションを実施しています。治療日には副作用の出現状況などを、看護師がご本人へ確認し、診察前に事前に医師へ報告しています。

医師へ直接聞きにくいことなどがありましたら、事前に看護師へ相談することも可能です。また、診察時に確認できなかったことや、在宅での体調不良などに関しては、電話での相談も常時受け付けています。治療を継続されている間は、関連スタッフと連携し、チーム医療を発揮させながら、患者さまの日常生活を支援しています。

□インフォームドコンセントの重要性

治療の決定は、医師と患者さまの間で、十分なインフォームドコンセントが交わされ、決定されます。治療方針が決定していく段階で、医師と何度も治療方針について話し合いを行いましょ。

抗がん剤治療は治療期間が長期にわたることも少なくありません。医師から提示された治療方針は自分自身の生活スタイルとあっているのか、仕事を続けていくのか、仕事の内容・生活状況を踏まえ、よく相談しましょう。

治療期間中、できるだけ生活の質を落とさず、自分らしい生活ができるようサポートを行っていきます。小さなことであっても、気になることがあれば医師だけでなく、看護師や薬剤師などへも気軽にご相談いただき、治療期間を一緒に乗り切っていきましょう。



当院への交通のご案内

京浜東北線 「大森駅」(約8分)

西口より東急バス①～④番「大田文化の森」下車

東急池上線 「池上駅」(約10分)

東急バス「大森駅」行き「入新井第四小学校」下車

東急大井町線 「荏原町駅」(約10分)

東急バス「大森操車所」行き「大森日赤前」下車

車

首都高速 湾岸線 「大井南」出口下車(約18分)
首都高速1号羽田線「平和島」出口下車(約15分)
首都高速2号目黒線「戸越」出口下車(約16分)

駐車場のご案内

立体駐車場(107台) 車椅子用駐車場(2台)
【料金】最初の30分無料 以降30分100円
入庫後24時間 最大1,000円
※患者・面会者に限る